

# 平成18年度外部評価（最終）

【評価基準】 A...自己評価は適当である B...自己評価は適当でない  
C...外部評価は可能であるが資料不足 D...外部評価は不可能である。

領域	短期経営目標	評価指標・評価基準 成果指標（めざす児童の姿）				児童 アンケート	保護者 アンケート	教職員 アンケート	自己 評価	外部評価部会記入欄	
		評価	達成率	評価	達成率					評価	自由記述
学力の向上	学ぶ意欲を引き出すための指導法工夫改善に取り組む。	4 授業への理解度（満足度）90%以上							4.0	A	学習意欲を高めようとする、教職員の意気込みや創意工夫が感じられる。 【理解】児童の回答「わかる」以上が94%は非常に高い水準だと思う。
		3 80%以上									
		2 70%以上									
		1 70%未満	9.4%		100%						
	国語力の向上を図る。	4 話し方の評価規準をクリアできた児童							2.8	A	【話す】ふつう、話すことは苦手な児童が多い。自己評価の正否は別として、話すことへの意欲が高められていることが分かる。
		3 (低・中) 85%以上 (高) 75%以上									
		2 (低・中) 75%以上 (高) 70%以上									
		1 (低・中) 65%以上 (高) 60%以上	8.6%		100%						
	聞き方の評価規準をクリアできた児童								2.6	A	【聞く】教職員の自己評価が幾分低くなっているのは、集中力が長続きしない児童実態があるのかもかもしれない。児童の注意をそらさない授業の工夫が必要だと思う。
		3 (低・中) 90%以上 (高) 80%以上									
		2 (低・中) 80%以上 (高) 70%以上									
		1 (低・中) 70%未満 (高) 60%未満	8.9%		91%						
読み・書き・計算など基礎学力の確実な定着を図る。	4 学年の達成規準（計算）をクリアできた児童							3.5	A	【基礎学力】保護者の評価が高い。教職員から見れば課題は小さくないようだが、継続した取組が保護者の安心感と学校への信頼感を大きくしているように思う。	
	3 (低・中) 85%以上 (高) 80%以上										
	2 (低・中) 80%以上 (高) 75%以上		基礎学力								
	1 (低・中) 75%未満 (高) 70%未満	7.7%		9.2%							
学年の達成規準（漢字）をクリアできた児童								2.6	A	漢字の指導は、計算の指導に比べて難しいのではないだろうか。教職員個々の考えで指導するだけでなく、学校として基本となる漢字指導の方法を研究してほしい。学校としての指導方法が確立すれば、効率的に児童の負担も少なく、効果を上げることができるように思う。	
	3 (低・中) 90%以上 (高) 85%以上										
	2 (低・中) 80%以上 (高) 75%以上		基礎学力								
	1 (低・中) 75%未満 (高) 70%未満	7.9%		9.2%							
豊かな人間性の育成	子ども同士、子どもと教職員の温かい人間関係づくりに取り組む。	4 先生や友だちが認め励ましてくれると感じる児童95%以上							2.0	A	【人間関係】人間関係づくりへの取組は、学校（教職員）の意欲や努力を感じる。学級づくりに力を注いでおられることが、児童や保護者のアンケートの高数値として表れている。
		3 90%以上									
		2 85%以上	8.7%		100%						
		1 85%未満		8.5%	7.9%						
	言語環境を整える。	4 丁寧な言葉遣いで話すことができる児童90%以上							2.4	A	【言語環境】児童は納得しているが保護者、教職員から見れば不十分。言葉遣いは生活環境ゲーム・テレビなどを含めて）に影響を受けて身につけることがほとんどだと思う。指導は困難で定期的に結果を出せないが、継続した指導で成果を上げることが出来るのではないかと。
		3 85%以上	9.0%								
		2 80%以上	9.0%	時と場に応じた言葉							
		1 80%未満	8.1%		5.8%						
	社会や自然とのかかわりを強め、体験を通しての学習を重視する。	4 自然や社会との関わりについて、気付きを自分でまとめることができる児童							3.2	A	【体験】積極的に豊富な体験学習を仕組んで行く必要があり、その意味から年間計画（一覧表）の完成は意義深い。将来的には計画の評価のために、実施後の「報告書」が必要になると思う。
		3 95%以上		自然活動・地域の人の活動							
		2 90%以上			体験活動						
		1 85%未満	8.1%		100%						
健康・体力づくり	体力の向上を図る。	4 外遊び（投の遊びを含む）が日常化したと感じる児童							3.0	A	【外遊び】運動が場に出て遊ばせるためには、時間の保障が条件になる。また、児童が外に出る出来ないは別として、時間を守って「授業はチャイムからチャイムまで」ということを児童に意識づけることが、学習意欲の向上にもつながるのではないかと。
		3 90%以上									
		2 80%以上	8.1%	健康・体力							
		1 70%未満			9.1%		9.1%				
	家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立を図る。	4 必要な睡眠がとれている児童							3.1	A	【家庭との連携】睡眠・朝食摂取・家庭学習など日々の生活に欠かせない事項が、これまでの継続した啓発によって好結果、高評価として3者の自己評価に表れたと言える。今後も家庭との連携を密にすることが欠かせない。
		3 (低) 90%以上 (高) 85%以上									
		2 (低) 85%以上 (高) 75%以上									
		1 (低) 80%以上 (高) 70%以上	8.2%		7.6%						
	毎日朝食がとれている児童								3.0	A	【家庭との連携】睡眠・朝食摂取・家庭学習など日々の生活に欠かせない事項が、これまでの継続した啓発によって好結果、高評価として3者の自己評価に表れたと言える。今後も家庭との連携を密にすることが欠かせない。
		3 100%									
		2 95%以上									
		1 90%未満	8.2%		9.7%						
家庭学習が定着している児童								3.4	A	【家庭との連携】睡眠・朝食摂取・家庭学習など日々の生活に欠かせない事項が、これまでの継続した啓発によって好結果、高評価として3者の自己評価に表れたと言える。今後も家庭との連携を密にすることが欠かせない。	
	3 85%以上										
	2 75%以上										
	1 65%未満	8.2%		7.8%							
泳力の向上を図る。	4 泳力2.5m以上の4年生児童80%以上							4.0	A	また、地域との連携をさらに進めることによって、子どもたちの「読書づくり」にも、つながることを期待したい。	
	3 70%以上										
	2 60%以上										
	1 60%未満	9.1%									
まちぐるみ	外部評価を含め学校評価を、学校教育活動へ生かす。	4 学校教育活動への肯定的評価						4.0	A	また、地域との連携をさらに進めることによって、子どもたちの「読書づくり」にも、つながることを期待したい。	
		3 80%以上									
		2 70%以上									
		1 60%未満									